

「腹部超音波検査における膵嚢胞性疾患の研究」について

○ 研究の意義・目的

膵がんは依然として早期診断が困難であり、5年生存率も10%未満とされ、特に切除できない膵がんの予後は非常に厳しいのが現状です。特に、腹部超音波検査にて膵嚢胞、膵管内乳頭粘液性腫瘍などの所見を認める場合、膵がんの高リスク者として定期的な膵臓の精査が必要とされています。今回、当センターでの腹部超音波検査結果および精密検査結果を評価することは重要と考えられますので、調査を行います。

○ 研究対象者

2016年4月1日から2021年3月31日までに、順風会健診センターで腹部超音波検査を受診された方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、診療録(カルテ)情報を用いて行います。カルテから転記する内容は性別、年齢、病歴、検査結果、腹部超音波検査結果、他院からの精密検査結果などです。個人が特定できる情報は転記しません。

また、他院からの検査画像を使用する場合があります。対象となる方には文書にて使用承諾を得ます。この際も、個人が特定できる情報は記載いたしません。

○ 研究期間

2021年4月1日～2022年12月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。お申し出があった場合には、研究対象者が識別される情報の利用を停止いたします。

.....

お問い合わせ先

住 所：790-0822 愛媛県松山市高砂町2丁目3-1 順風会健診センター

電話番号：089-911-2111

研究担当者：長谷部 靖子